

牧草と園藝



6

1986

イタリアンライグラス特集

イタリアンライグラス品種選定のポイント

《作付体系で選ぶイタリアンライグラス適品種》

1. 早播きトウモロコシ，早期水稻の前作には

極早生・極短期利用型

サクラワセ

- 早春利用で最多収品種。
- 細茎で出穂茎が多く，乾物率が高い。＝乾燥が早く，サイレージ・乾草調製がしやすい。
- 収穫後の残株・残根量が少ない。＝後作の耕起・播種作業や稲の活着への影響が少ない。

2. トウモロコシ，ソルガムの前作には

中晩生・短～長期利用型

マンモスイタリアンB (ビリケン)

- 四倍体の中晩生品種で1～2回利用で極多収。
- 初期生育に優れ，再生力も極めて旺盛。
- 春播きでも出穂茎多く，秋作エンバクや飼料カブの後作としても好適。

3. ソルガム晩播の前作や草地での周年栽培には

晩生・中長期～周年利用型

エース

- 再生力旺盛で，イタリアンライグラスの中で最も遅くまで利用できる多収品種。
- 耐暑性・越夏性が良好で，標高の高い地域では，2～3年利用が可能。
- 西南暖地の早播きで発生が多いもち病に強く，冠さび病にも極強。
- 耐寒性・耐雪性も強く積雪地帯でも安心して栽培できる。